

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保中学校	校長	瀬戸 智	生徒指導主事	新田 祐介
-----	-----------	----	------	--------	-------

取組事例名 『全校アイスブレイク【2回実施】』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「主体性」	1	「課題発見解決能力」	3

取組のねらい

- ・生徒が主体となって、学校の課題を見つけ、解決するための手立てを実現させる機会をつくる。
- ・全校生徒が主体的に参加し、学校が楽しいと実感できる機会をつくる。
- ・他学年や普段関わらない生徒との交流の機会をつくり、人間関係の幅を広げる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード 一緒に考える』
----------	---------------------------

<p>1 生徒会執行部による趣旨説明</p> <p>2 ルール説明</p> <p>生徒会執行部が考案した問題についてペアで順番に解答し、全問正答するまでのタイムを競う。</p> <p>3 チームの場所へ移動・ペアの決定</p> <p>4 全校アイスブレイク</p> <p><b>【活動の様子】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>5 結果発表</p> <p>上位になったグループを紹介し、全員で拍手を行い、全問題の答え合わせをする。</p>	<p>『縦割り活動』</p> <p>同じグループ内でその場でペアを組ませることで、他学年でペアをつくらせたり、普段関わりが少ない生徒同士でペアを組ませたりする。</p> <p>『コミュニケーション』</p> <p>知識が必要なものではなく、頭の柔軟性や自由な発想が必要なクイズを準備して、ペアが相談する機会を増やす。</p> <p>『共感と承認』</p> <p>待っている生徒は、問題に答えている生徒を応援する。正答して戻ってきた時は拍手をする。また、戻ってきた後に近くの生徒と解答内容を共有する。</p>
--	---

取組の成果と課題

【生徒アンケート「学校やクラスの行事に参加することは楽しい」の割合】

	1年	2年	3年	変化の様子
7月	82%	95%	87%	3年が大きく上昇したが、2年は低下している。1年生は微増。
12月	83% ↑	91% ↓	95% ↑	

**【成果】**  
 ペア組みで困っている下級生を上級生が誘う姿が見られた。また、解答中の生徒を応援する姿や、戻ってきて答えを周囲と交流する姿が見られ、互いが積極的に関わることができる取組となった。

**【課題】**  
 集団が苦手な生徒や答えるのに時間がかかる生徒にとっては、重圧を感じる活動となったので配慮が必要だった。